

I 令和元年度事業報告

さとうきびは、本県の南西諸島の基幹作物として、地域経済を支える重要な作物であることから、当協会では、「県さとうきび増産計画」に基づき関係機関・団体と一体となって増産対策に取り組むとともに、農家の高齢化や労働力不足が進行する構造的変化に対応した担い手の育成や地域営農の組織体制づくり等に取り組んでいる。

令和元年度においては、優良品種選定等の試験研究、酒造用含みつ糖の生産安定対策を推進するとともに、品目別経営安定対策に対応した安定的な生産体制を確立するため、種子島糖業振興会及び奄美群島糖業振興会と連携した担い手の育成に向けた地域活動の支援のほか、さとうきび生産改善共励会等を実施するなど、さとうきびの品質及び生産性向上の取組を推進しているところである。

また、さとうきびの品質取引については、これまで、琉球大学等の協力を得て、細裂NIR法による品質測定の基準となる検量線の開発などに取り組んできたが、令和元年度も引き続き検量線の精度向上のための分析を進めるとともに、細裂NIR法による品質取引の円滑な運用に向けた取組を進めたほか、品質取引測定システムの老朽化等に伴う次期更新に向けた機種を選定等について、沖縄県糖業振興協会と連携して検討を行った。

さらに、平成30年の9月末に来襲した強い台風24号により、南西諸島全域が近年にない大きな被害を受けたため、さとうきび増産基金を発動して、次年産さとうきびの生産回復に向けた取組の支援を行ったところである。

令和元年産については、各種施策の実施に加え、台風の襲来もなかったことなどから、順調に生育しており、県全体では前年比111%の約50万トンの生産量が見込まれている。

また、ツマジロクサヨトウによる、さとうきびの被害確認を受け、今後、被害が懸念されることから、10月28日に種子島、奄美群島全島に対して、薬剤費の助成などを対象にした「さとうきび増産基金」を発動したところ です。

協会の元臨時職員による協会資金着服事案に対しては、経理処理・財産管理マニュアルに基づき適正な事務執行に努め、再発防止対策を図ってきたところである。

II 事業別実績

事業名	事業内容
<p>1 さとうきび品質取引対策 基金事業 (1)理事会・総会</p>	<p>(1) 書面によるみなし総会の実施 平成31年4月19日 県の人事異動により、本田勝規農政部長(協会の理事)及び柳橋浩一農産園芸課長(協会の専務理事)から辞任届が提出された。 役員(理事)の改選について、書面決議で各会員に同意を求めたところ、4月19日までに全会員から同意書が提出された。 (新理事) 鹿児島県農政部長 満 蘭 秀彦 氏 鹿児島県農産園芸課長 有馬 博史 氏 任期:令和元年度定時総会終結時まで(前任者の残任期間)</p> <p>(2) 監査の実施 ア 期日:令和元年5月8日(鹿児島市) イ 出席監事:岩重洋一監事, 田中睦生監事 ウ 内容 ・平成30年度事業報告及び決算諸表 ・経理関係書類のチェック ・預金残高証明書と預金通帳との突合 ・有価証券残高証明書と決算書との突合ほか</p> <p>(3) 第1回理事会の開催 ア 期日:令和元年5月10日(鹿児島市) (出席:理事9名, 監事2名) イ 議案等 ・協会資金着服事案の経緯(報告) ・平成30年度事業報告及び決算諸表の決定 ・定時総会の招集の決定 ・専務理事の選任</p> <p>(4) 定時総会 ア 期日:令和元年5月30日(鹿児島市) (本人出席:13人, 代理3人, 議決権行使12人) イ 議案等 ・協会資金着服事案の経緯(報告) ・平成30年度事業報告及び決算諸表の承認 ・役員(理事)の改選</p> <p>(5) 理事会の開催 ア 期日:令和元年5月30日(鹿児島市) (出席:理事8名, 監事1名) イ 議案 ・理事長, 副理事長及び専務理事の選任</p> <p>(6) 書面によるみなし理事会の実施 令和元年8月22日</p>

	<p>令和元年度補正予算について、書面決議で各理事及び監事に同意を求めたところ、8月22日までに全員から同意書が提出された。</p> <p>承認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書記の交代に伴う臨時職員の雇用について ・会計ソフト操作担当者の複数化に伴うシステムの改善について <p>(7) 上半期監査の実施</p> <p>ア 期日:令和元年11月26日(鹿児島市)</p> <p>イ 出席監事:岩重洋一監事, 田中睦生監事</p> <p>ウ 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業(上半期)の執行状況 ・令和元年度決算諸表(上半期) <p>(8) 書面によるみなし総会の実施 令和元年12月25日</p> <p>奄美大島酒造協同組合の総会により理事長が交代し, 前奄美大島酒造協同組合の川崎洋三理事から辞任届が提出された。</p> <p>役員(理事)の改選について、書面決議で各会員に同意を求めたところ、12月25日までに全会員から同意書が提出された。</p> <p>(9) 第2回理事会の開催</p> <p>ア 期日:令和2年2月17日(鹿児島市)</p> <p style="padding-left: 40px;">(出席:理事9名, 監事2名)</p> <p>イ 議案等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協会資金着服事案の状況(報告) ・令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)について ・令和2年度の資産運用について <p>(2) 推進体制整備対策事業 (1) 各委員会の活動推進</p> <p>ア 企画運営委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回委員会 <ul style="list-style-type: none"> 期日:平成31年4月26日(鹿児島市)(9人) 内容:第1回理事会の付議事項等について ・第2回委員会 <ul style="list-style-type: none"> 期日:令和2年1月28日(鹿児島市)(9人) 内容:第2回理事会の付議事項等について <p>イ さとうきび品質取引対策委員会の開催</p> <p>期日:令和元年7月5日(鹿児島市)(19人)</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①平成30年度品質取引推進対策事業の実施状況 ②平成30年度品質取引システム管理業務結果及び令和元年度計画 ほか ③細裂NIRシステムの次期更新に向けた検討状況 <p>ウ 酒造用含みつ糖生産対策委員会の開催</p> <p>期日:令和元年11月1日(奄美市)(9人)</p>
--	---

内容:酒造用含みつ糖生産合理化基金事業の今後の運営方針について

エ さとうきび試験研究委員会の開催

・第1回委員会(現地検討会)

期日:令和元年11月28~29日(与論島)(34人)

内容:現地調査及び各島の生産力検定試験の中間報告

・第2回委員会

期日:令和2年3月5日(鹿児島市)(37人)

内容:配布系統の令和元年度試験成績について

令和2年度の試験計画について など

(3)品質取引推進対策事業
ア 品質取引立会人設置事業

(1)立会人の設置

ア 平成31年度分(平成31年4月分)

専任(9人),交代要員立会人(8人)

専任立会人の勤務条件 各工場1日1人,週5日勤務

立会日数(6工場, H31.4.1~H31.4.19)

項目	会社名 新光 糖業	富国 製糖	生和 糖業	南西糖業		南栄 糖業	与論島 製糖	合計
				徳和瀬	伊仙			
配置人数	3	3	4	2	2	2	2	17
(うち専任)	1	1	2	2	2	1	1	9
立会日数	8	2	0	2	3	19	0	32
(うち専任)	8	0	0	2	3	15	0	28

※立会日数:専任立会人、交替要員立会人の合計

イ 令和元年度分(令和元年12月~令和2年3月)

専任(9人),交代要員立会人(8人)

専任立会人の勤務条件 各工場1日1人,週5日勤務

立会日数(6工場, R1.12.3~R1.3.31)

項目	会社名 新光 糖業	富国 製糖	生和 糖業	南西糖業		南栄 糖業	与論島 製糖	合計
				徳和瀬	伊仙			
配置人数	3	3	4	2	2	2	2	17
(うち専任)	1	1	2	2	2	1	1	9
立会日数	93	65	93	82	80	101	80	594
(うち専任)	67	44	73	82	80	78	64	488

※立会日数:専任立会人、交替要員立会人の合計

(2)品質取引立会人研修の実施

令和元年度の品質取引業務の円滑な実施に向けて,新任立会人等を対象に研修を実施。

ア 期日・場所

・令和元年10月31日 生和糖業(株)喜界工場 6人

・ " " 31日 JAあまみ笠利支所 1人

	<p>イ 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さとうきび生産の動向 ・さとうきびの品目別経営安定対策 ・品質取引業務について ほか <p>(3) 令和元年度品質取引業務の開始</p> <p>令和元年 12 月 3 日 南栄糖業(株)和泊工場 令和元年 12 月 10 日 新光糖業(株)中種子工場 令和元年 12 月 13 日 与論島製糖(株)与論工場 令和元年 12 月 16 日 富国製糖(株)奄美工場 令和元年 12 月 18 日 生和糖業(株)喜界工場 令和元年 12 月 19 日 南西糖業(株)徳和瀬工場・伊仙工場</p>
<p>イ 品質取引推進指導事業</p>	<p>(1) さとうきび品質取引対策委員会の開催(再掲)</p> <p>(2) 品質取引測定システムの管理業務 業務委託契約締結:平成 31 年 4 月 1 日 委託先:NPO法人亜熱帯バイオマス利用研究センター 業務委託料:8,596,000 円</p> <p>(3) 品質取引測定システムの点検認定証の交付 NPO法人亜熱帯バイオマス利用研究センターへの業務委託 契約に基づき,同NPO法人が今期操業に向けて各製糖工場の品質取引測定システム(カッターグラインダー,近赤計)の点検を行い,その結果報告に基づいて各工場に点検認定証を交付した。</p> <p>(4) さとうきび品質取引測定システム安定運用研修会の開催 期日:令和元年 10 月 10 日(種子島新光糖業(株)中種子工場)(19 人) 内容:細裂 NIR システムの運用状況,カッターグラインダーの取扱い及びトラブル対応,さとうきび原料の品質測定の実際など</p> <p>(5) 品質取引測定システムの次期更新に向けた検討 ア 沖縄・鹿児島品質取引検討会(品質取引機器機種選定委員会) 期日:令和元年 6 月 7 日(沖縄県) (鹿児島県関係者出席:4 人) 内容:次期導入候補近赤機に係る試験結果について イ 沖縄・鹿児島品質取引検討会 期日:令和元年 12 月 19 日(沖縄県) (鹿児島県関係者出席:4 人) 内容:新機種近赤機(DS2500)の導入状況について</p>
<p>(4) 品質・生産性向上対策事業</p>	<p>(1) 品目別経営安定対策に係る地域活動の支援 品質・生産性向上対策(地域活動支援)事業</p> <p>① 種子島糖業振興会 事業費 270,000 円(うち助成金 250,000 円)</p> <p>② 奄美群島糖業振興会 事業費 500,000 円(うち助成金 250,000 円)</p>

	<p>(2)令和元年度さとうきび生産改善共励会 審査会の開催 期日:令和元年10月18日(鹿児島県庁) 出席委員:6人 ・団体の部 (有)南西サービス(徳之島) 機構理事長賞 ・農家の部 永野 育八氏(和泊町) 県知事賞 若山 秀也氏(天城町) 機構理事長賞 (賞状の伝達) ・期日:令和元年11月23日(和泊町) 第57回和泊町農業祭において賞状を伝達 ・期日:令和元年11月23日(天城町) 第49回天城町農業祭において賞状を伝達 県知事賞:県大島支庁沖永良部事務所長から 機構理事長賞:機構本部担当理事から</p> <p>(3)令和元年度さとうきび・甘蔗糖関係検討会への参加 (主催:(独)農畜産業振興機構) ア 期日 令和元年11月14～15日 イ 場所 石垣島 ウ 内容 ・砂糖をめぐる現状と課題 ・パネルディスカッション ・基調講演 ・研究成果発表 ・現地視察</p>
<p>2 酒造用含みつ糖生産合理化基金事業</p>	<p>(1) 酒造用含みつ糖生産対策委員会の開催(再掲) (2) 加計呂麻島における酒造用含みつ糖生産合理化補給金の交付 ア 平成30年度産数量 61ケース(30kg/ケース) イ 補給金単価 6,550円/ケース ・糖業振興協会負担 5,550円/ケース ・瀬戸内町負担 1,000円/ケース ウ 補給金 338,550円(61ケース×5,550円)をJAあまみに交付(令和元年6月4日)</p>
<p>3 甘しゃ糖企業合理化推進事業</p>	<p>製糖企業が実施する合理化対策の推進に要する短期借入金に対する債務保証を行う。※実施希望なし</p>
<p>4 さとうきび試験研究事業</p>	<p>(1)さとうきび試験研究委員会の開催(再掲) (2)現地適応性検定事業 さとうきびの優良品種を選定するための現地試験(生産力検定試験)の実施 ※各島の糖業振興会又はさとうきび生産対策本部と委託契約を締結 (3)技術研究推進事業 ア 平成30年度さとうきび関係試験成績概要書の印刷 さとうきび関係試験成績・設計検討会(令和元年7月16日)</p>

<p>5 さとうきび増産基金事業</p>	<p>～17日開催)資料として活用</p> <p>イ さとうきび研究成果発表会の開催 令和元年7月17日(鹿児島市) 135人 ・さとうきび研究成果の発表(3課題) ・シンポジウム (事例発表(2事例), 総合意見交換) ・情報提供:農業共済制度, 収入保険制度について</p> <p>(4)技術開発研究事業 品質及び生産性を高めるための技術開発研究を実施するため, 関係試験研究機関と業務委託契約を締結</p> <p>①さとうきび新品種「KY10-1380」の生産安定技術の確立 (R元～R5, 熊毛支場)</p> <p>②大規模経営体を支える夏植え多回株出し栽培技術の確立 (H28～R2, 徳之島支場)</p> <p>③極めて省力的な中耕方法を用いるさとうきび株出し管理体制の確立 (R元～R3, 徳之島支場)</p> <p>④さとうきび製糖の結晶生成効率化技術の構築 (R元～R3, 工業技術センター)</p> <p>委託料 合計 1,500,000円</p> <p>台風, 干ばつ, 病害虫発生等の緊急事態に対するセーフティネットとしての基金の管理・運営</p> <p>さとうきび自然災害被害対策事業(生産者支援)及び国内産糖自然災害影響緩和対策事業(工場支援)の基金発動に基づき, 各種対策を実施。</p> <p>(1)さとうきび自然災害被害対策事業(生産者支援)</p> <p>ア 平成30年5月14日付け発動 対象地域:種子島, 喜界島, 徳之島 発動要件:台風による糖度低下(製糖開始1か月間の平均糖度が11.5度を下回る) 事業内容:次年産に係る新植用種苗確保, 土壌改良資材の購入等 ※平成31年4月25日付けで全て完了</p> <p>イ 平成30年10月15日付け発動 対象地域:種子島, 奄美大島, 喜界島, 徳之島, 沖永良部島, 与論島 発動要件:台風による被害率が1割を超える被害 平成30年9月29日から30日にかけて, 大型で非常に勢力の強い台風24号が, 奄美群島の与論島から種子島に沿うように北上。さとうきびに大きな被害をもたらす。 事業内容:次年産さとうきびの生産回復に向け土づくりや種苗確保に対する支援 ※令和元年5月31日付けで全て完了</p>
----------------------	--

ウ 令和元年度 10 月 28 日付け発動

対象地域:種子島,奄美大島,喜界島,徳之島,沖永良部島,
与論島

発動要件:病虫害防除所からの発生予察特殊報の発出

県病虫害防除所から,病虫害発生予察特殊報第 3 号の発出に
伴う国内初発見のツマジロクサヨトウの防除等に対する発動

事業内容:農薬及び施肥資材等の購入費助成等

(当年産・次年産対策)

(2) 国内産糖自然災害影響緩和対策事業(工場支援)

基金発動に基づき,工場設備の機能強化対策を実施

平成 31 年 2 月 12 日付け発動

対象地域:種子島,喜界島

対象製糖工場:新光糖業(株)中種子工場

生和糖業(株)喜界工場

発動要件:干ばつ,台風等の自然災害により,当該砂糖年度の産糖
量が平年水準(過去 7 年の中庸 5 年平均)より 10%以上減
少することが見込まれる場合

事業内容:製糖施設の機能強化(設備の取替,更新等)

※31 年度へ繰越,令和元年 12 月 3 日付けで全て完了

※南西諸島に接近又は通過した台風(期日)

台風 3 号(6/26~27),台風 5 号(7/18~19),台風 8 号(8/5~6)

台風 9 号(8/9~10),台風 10 号(8/13~15),台風 13 号(9/5~6)

台風 17 号(9/21~22),台風 20 号(10/20~21)